

県立美術館

「ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密展」
—ルーベンス、ヤン・ブリューゲル、ベラスケスなど
75点で解き明かす静物画の世界—

ウィーン美術史美術館は、スペインやオーストリアなどを支配したヨーロッパ最大の王家、ハプスブルク家のコレクションを一堂に集めた世界屈指の美術館です。その数多くの所蔵品のなかから、「静物画の秘密」をテーマに珠玉の名作75点を選び出しました。

美術館が世界に誇る至宝、“世界で最も愛らしい少女像”といわれるベラスケスの『薔薇色の衣裳のマルガリータ王女』は日本初公開。そのほかにも、美しい花々やみずみずしい果物、そして硬質な輝きを放つ金属やガラスの器など、迫真の描写による静物画の隠された謎に迫ります。

ディエゴ・ベラスケス「薔薇色の衣裳のマルガリータ王女」1653-54年頃、油彩・キャンヴァス
© Kunsthistorisches Museum Wien, Gemädegalerie, Vienna



■会期 4月11日(土)～6月14日(日) ※休館日 5月11日(月)

料金等詳しくは 県立美術館 ☎017-783-3000
<http://www.aomori-museum.jp/>

その他の県内イベント

県立郷土館

企画展「サムライ・チャンバラ博覧会」

県内で江戸時代から伝えられてきた武術や武具、小説や映画の中での時代劇ヒーロー、昔遊んだチャンバラごっこなどを紹介しています。

期間中の日曜日には、古武道流派師範による公開演武や子ども武術体験コーナーなどもあります。

■期間:5月6日(水)まで開催中

■観覧料:通常料金(一般310円、高校・大学生150円)



當田流棒術(弘前藩)

県立郷土館 ☎017-777-1585
<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/culture/kyodokan.html>

県立図書館

みんなおいで!おはなしは心のおやつだ おいしいよ

おはなし会(絵本の読み聞かせ)

■日時:4月11日(土)、5月9日(土) 14:00～14:30

■対象:定員:幼児、小学生 40名程度

科学おはなし会

(科学のおもしろ実験や科学に関する本のお話)

■日時:4月25日(土)、5月23日(土) 14:00～14:30

■対象:定員:小学生、科学に興味のある方など 40名程度

こどもの読書週間行事
図書館の展示

■期間:4月24日(金)～5月31日(日)

親子図書館ウォークラリー
図書館・文学館探検ツアー

■期間:4月26日(日) 13:00～15:10

県立図書館 ☎017-739-4211 <http://www.plib.net.pref.aomori.jp/top/index.html>

県近代文学館

企画展「今官一生誕100年展」

作家・今官一の生誕100年を記念し、

その文学の魅力に迫るとともに、

若き日に出会った太宰治との交友にも光を当てます。

■期間:4月25日(土)～6月7日(日) ※休館日:5月25日(月)～28日(木)



県近代文学館 ☎017-739-2575
<http://www.plib.net.pref.aomori.jp/top/museum/index.html>

鷹山ひばり 新館長に聞く

「心豊かな人生」とは、どれほどの感動の「刻」に巡り会えたかの数でもあります。

今日の心の糧であり、精神の拠り所となる場が、この県立美術館であつたら幸せです。

また、日常さりげないところから「美」を発見する目を養うために、教育普及活動にも力を注いでいきたいと思っています。

県民の皆さんが誇れる美術館であるための地を耕し、種を蒔く仕事を誠意に行っていきます。



鷹山 ひばり 新館長

父である画家の鷹山宇一記念美術館(七戸町)の館長を10年間務めた後、今年1月県立美術館長に就任。

県営スケート場

インラインスケート営業案内

●リンクオープン 日時:4月25日(土)

●オープンイベント 日時:4月26日(日) 内容 楽しいゲームがたくさん

営業時間 平日 13:00～20:00 土・日、祝 10:00～20:00

県営スケート場 ☎017-739-9500 <http://www.jomon.ne.jp/~skate01/>

浅虫水族館

特別企画展
「572億円!海からの恵み」

■期間:4月25日(土)～6月21日(日)

青森県の2007年漁業総生産額は、572億円で全国第6位。その中でも漁獲量が全国1位から3位までにランク付けされる青森県を代表する水産物を紹介・展示します。

裏方見学会

■期間:4月の土日開催

①11:00～ ②14:00～

普段は見ることのできない水族館の裏側を飼育係員が解説しながら案内します。(各回先着15名・有料)

浅虫水族館 ☎017-752-3377 <http://www.asamushi-aqua.com/>

県動物愛護センター

春の開園イベント

春の雪解けとともに、乗馬体験や屋外でのドッグランを再開します。当日は、愛犬と一緒に参加できる企画「ワンちゃんの大運動会」を実施します。愛犬や当センターのスタッフ犬と一緒に参加できます。(入場無料)

■日時:4月5日(日) 10:00～16:00

■内容:①ワンちゃんの大運動会 ②乗馬体験

③動物とのふれあい(馬・ヤギ・ヒツジ・犬・ねこ・ウサギ・モルモット・フェレットなど)

④犬のしつけ方教室

県動物愛護センター ☎017-726-6100 <http://www.aomori-animal.jp/>

県立種差少年自然の家

たねさしワールド「春」

春の自然を楽しもう(種差海岸ハイキング)

■日時:5月9日(土) 9:00～15:00

■定員・対象:小・中学生とその家族 100名(小学校3年生以下の場合は保護者同伴)

■募集期間:4月14日(火)～4月28日(火)ただし、定員になり次第締め切ります。

■参加費:1人 500円程度

■申込方法:電話又はFAXで。

種差少年自然の家 ☎0178-38-2131 FAX 0178-38-2727
<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-tanesashi/>

申吾の ほっとコラム

青森県知事 三村 申吾

「青森の挑戦」

「もう化石燃料でエンジンを動かす時代ではない。世界の流れは必ずや電気自動車に向かう。これからは電気自動車の要となる新しい蓄電池やモーターやセンサーが絶対必要になる。そういった関連の技術を持つ企業を集積することが重要。」この思いのもと、地道な企業誘致活動を続け、実際に高度なセンサー技術を持つ企業群が立地するようになってきた。

時代もついに大きく動いた。

温暖化、CO₂問題、そして世界的な燃油高騰が大きなきっかけとなって、我が青森が進める「環境・エネルギー産業振興戦略」と時代とがついに並んだ。

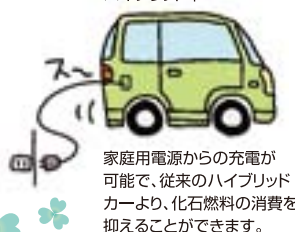
国に提案していた「EV・PHVタウン構想推進事業」がいよいよ実施される。

本県のエネルギー消費の80%は化石燃料に依存している。給湯、暖房・融雪の灯油等、そして1世帯あたり1.77台の自動車用ガソリン・軽油等が主なもの。京都議定書の「チームマイナス6%」どころか、この15年で20%以上増加している。まずは、この課題に適切に対応することが重要である。化石燃料を使わない自動車の普及に努めなくてはならない。

そこで我々は、青森市、七戸町や六ヶ所村、そして奥入瀬溪流や白神等での観光利用等を通じてEVやPHVの導入モデルを実証することとした。この青森の未来への挑戦にご期待ください。

※Vとは電気自動車、PHVとはプラグインハイブリッド車のこと

プラグインハイブリッド車



家庭用電源からの充電が可能で、従来のハイブリッドカーより、化石燃料の消費を抑えることができます。